

FUT トピックス

2022

Vol.3



海の向こうで、未来の自分に出会う 海外インターンシップ制度

Overseas Internship



視野がぐっと広がる20日間

私はコミュニケーション力を身につけたい、異国の人たちと一緒に働くとはどういうことかを知りたいと思い参加しました。配属されたのは、三和商会在常駐するアルミ製作工場。技術を伝えるために日本人の駐在員さんと現地スタッフの方々が真剣にやり取りする姿を目の当たりにして、他言語で仕事をする難しさと重要性を実感できました。最初こそ言葉の壁に悩みましたが、日々の出来事をレポートにまとめるうちに話題が見つかり、ジェスチャーやメモを交えて意思疎通が出来るようになると、「言葉の勉強に力を入れて、海外で働くのも選択肢の一つ」だと思えるようになりました。行く前には無かった柔軟な思考と広い視野など、想像以上のものが得られるお勧めのプログラムです。

坂田 龍紀さん
工学部 電気電子工学科 3年



荻野 晃汰さん
工学部 機械工学科 3年



見える世界が大きく変わる

私は福井鋸螺のタイ工場に配属され、メタルパーツ製造に携わりました。ここでは高い技術力を必要とする製法で自動車や通信機器などに使われる製品を作っていますが、素材の特性を知ること大事だと原材料の仕入れ先まで見学させていただき、製造過程をゼロから学ぶことができました。ホテルから通勤に約1時間半かかりましたが、その時間に日本人駐在員の方から聞かせていただいた入社理由やタイで働く意味、プライベートに至るまでの濃いお話は、将来を考える際の参考になるものばかりでした。また、日常生活や観光を通して現地の文化を理解するほどにタイが好きになり、「日本と海外を繋ぐ、モノづくりの仕事に携わりたい」という思いが一層高まりました。

海外インターンシップ制度で将来のキャリア形成をサポート

海外に進出した日本企業の駐在員の方が現地スタッフと一緒にどのように仕事をしているのかを、実際の現場に入らせていただき学びます。自分が得たこと・ものは研修最終日の成果発表会で受け入れ企業様・他の参加者に報告するため、自分なりのテーマや目的を持って取り組むことが必要です。キャリアセンターではこのプログラムを通じて人間力の育成も目指しています。また、企業で行う就業体験とは別に、日本語を学ぶ現地高校生への指導補助を行う「日本語アシスタント研修」もあります。



キャリアセンター
就職支援課
鷺田 美佐子さん

TOPIC 01

日本代表として自身のスキルを高めながら 大学ホッケー部の実力強化にも貢献

日本の若手トップクラスの俊敏さと恵まれた体格を武器に、男子ホッケー日本代表入りを果たした佐伯郁海さん。今年5月にインドネシアで行われた「第11回 Hero アジアカップ2022」にMFとして出場し、日本を4位に導く活躍を見せました。

初の国際試合を終え、「まず驚いたのはスピード感の違い。各国最高峰の選手揃いなので試合展開が早く、いつも指導されている戦術理解の重要性を痛感しました」と佐伯さん。来年のワールドカップを念頭に、「私は単身ドリブルで切り込んでシュートに繋げるのが得意ですが、味方と一緒に攻め込むプレイも仕掛けていきたいので、フィールドの状況把握とパスの精度を上げたい」と自己分析。それぞれに得るものがある日本代表と大学ホッケー部の練習を通じて、より高みを目指し、福井工業大学男子ホッケー部が目標としているインカレ優勝の達成に向け、日々トレーニングに励んでいます。

男子ホッケー部
佐伯 郁海さん
建築土木工学科 3年



監督の声 COACH'S VOICE

目的を明確にし、自覚を持った練習を促す

恵まれた身体から繰り出す強力なシュートが強みの彼は、初の国際試合を経て一層成長しました。私も日本代表のコーチとして学んだ戦術や経験を生かし、自主性とコミュニケーション、戦術の共通理解を重要視した指導を行うよう心がけています。

男子ホッケー部
渡邊 宏樹
監督



史上6人目の快挙達成!

高宮千聖さんがアマチュアでプロツアー優勝

TOPIC 02



ゴルフ部
高宮 千聖さん
スポーツ健康科学科 2年

2022年7月、越前カントリークラブで行われた男子プロゴルフ ABEMA ツアー「ジャパンプレーヤーズチャンピオンシップ チャレンジ in FUKUI」。並み居るプロ選手の中、アマチュアとして出場した高宮さんが初日から首位の座を守り続け、見事な完全優勝を果たしました。これはABEMA ツアー史上6人目の快挙であり、福井工大ゴルフ部としては初の偉業です。初参加だった公式ツアーを「プロの技術を間近で学べる機会であると同時に、出場＝プロの世界に大きく近づくチャンスでもあったので、楽しむ気持ちを大切に挑みました」と振り返る高宮さん。プロの安定感を肌で感じたと言い、「どんな場面でもいつも通りに打てるのは、経験を積んでいるからこそ。早くその域に達したい」と更なる飛躍への意欲を見せました。

2022年8月1日プロ転向

この優勝を機にプロに転向しました!大学生の私がプロになれたのは、トレーニングから栄養指導に至るまで先生方の手厚いサポートがあったからです。今後も各種アドバイスをいただきながら学生とプロの両立を目指します。



TOPIC 03

国内最大級の室内野球練習場が完成！
カール・マイヤーグラウンドは
日本一を目指すためのスポーツ施設へ。



Indoor baseball
practice field

硬式野球部のホームであるカール・マイヤーグラウンドが、今秋大きく生まれ変わりました。新たに誕生した3施設で、特に注目すべきは室内練習場です。室内で使用する人工芝は、明治神宮野球場で使われている質の高い人工芝を採用。8ブースを擁する打撃練習場と4カ所のブルペンを完備し、天候を問わず練習に打ち込めます。またウエイトトレーニングのスペースも確保されているので、器具を使いながら個々に合った効果的なトレーニングもできます。

硬式野球部では地元小中学生向けの野球教室を行うなど、野球を通じた地域貢献活動を実施しており、これからはこの施設を活用していく予定です。



野球場概要

- メイングラウンド
センター122m、両翼100m
ナイター設備完備
- 室内練習場、投球練習場、サブグラウンド 新設

投球練習場



新設した屋根付き投球練習場は8人までの同時投球が可能で、効率的な練習とチーム全体の技術向上に繋がりました。キャッチャーの背後距離が広めに設計されているので、一般的なブルペンのマウンド・ホームベース間よりも長距離の投球練習にも対応できます。

サブグラウンド



センター96m、左翼63m、右翼73mのサブグラウンドを新たに整備しました。内野は黒土、外野に人工芝を張りました。プロ球場と同等の仕様で、今春新設された大学女子硬式野球部とも共有し、共に日本一を目指します。

OPEN CAMPUS 2022 REPORT

色とりどりに思い描く、可能性に満ちた30年後。



8月に行われた今年度4回目のオープンキャンパスでは、通常の大学・入試説明会や学科体験に加えて、2050年の世界を予想しディスカッションするイベント「2050年サミット」を同時に開催しました。

このイベントでは、現在福井工大で研究されている最先端のテクノロジーを紹介しながら、各学科ごとに設けられた「AIは未来を予測できるか?」「雨水は救世主になるか?」「技術の進歩は、人々の健康の味方か、それとも敵か?」といったテーマで30年後の世界について議論。参加した高校生達は、進行役の大学生に質問したり詳しい研究内容を尋ねたりしながら、自由な発想でまだ見ぬ30年後の未来に思いを馳せていました。なお、当日に特設スペースで書かれた予言はWEBで公開していますのでぜひご覧ください。今後も本学での学びを体験できる参加型イベントを企画していきます。

2050年 予言大会
結果発表はこちら



実施プログラム

全体説明会／保護者向け説明会／入試説明会／
学科体験／キャンパスツアー／
学生生活(奨学金、寮・下宿)・入試相談コーナー

次回の
オープンキャンパスは **11/23 WED**

事前予約制

事前予約制となっております
詳しくはQRコードからご確認ください



「知」をつなぐ。
「未来」を創る。

福井工業大学
Fukui University of Technology

福井工業大学 入学センター 入試広報課
〒910-8505 福井県福井市学園3丁目6番1号

0120-291-780

Facebook Twitter YouTube
福井工業大学 検索